



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーに輝きを

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：高橋勇雄 ■幹事：吉田和義
- 会報委員長：伊藤弘子 ■副委員長：笠 雅樹
- 委員：丹治洋子 赤間浩一 菅野清敬 菊地和宏 三瓶弘樹

第9回例会

平成 26 年 9 月 3 日 (水) サンパレス福島

■会員/72名 ■出席/49名 ■出席率/68.06% ■メイクアップ/23名 ■修正/72名 ■修正率/100%

本日のプログラム

12:30 開会点鐘

- ロータリーソング (奉仕の理想)
- 四つのテスト
- 来訪者紹介と会長挨拶
- ロータリーの読みどころ
- 誕生祝い
- 食事

各委員会報告

- スマリングボックス委員会
- 出席委員会
- ロータリー財団委員会
- 米山記念奨学会委員会

幹事報告

会員スピーチ

13:30 閉会点鐘

本日のソング 『奉仕の理想』

奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我らの業

望は世界の久遠の平和

めぐる歯車いや輝きて

永久に栄えよ

我らのロータリー ロータリー



◆会長あいさつ◆



高橋 勇雄 会長

皆さん今日は、9月に入り、つい最近までの猛暑も、気がつくくと虫の声や、トンボが飛び交い、自然の摂理というもの改めて感じざるを得ません。

さて、今月9月は、「青少年のための月間」です。この青少年(ユース サービス)の起源は1923年セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」と言う討議が行われ、青少年奉仕活動が小委員会として発足、やがて五大奉仕部門に格上げされ2013年規程審議会で名称も「新世代奉仕」から「青少年奉仕」と名前も変更されました。2530地区の活動状況を見ますと、IACが16クラブRACはこの秋には、中央RCが加わり6クラブになる状況です。また、当クラブからは地区の青少年奉仕委員会メンバーとして・ローターアクト委員長として廣澤俊樹委員長・ライラ委員会委員として菅原節子委員の二名が地区委員として取り組んでいます。また、福島南RCとしては、成蹊高校にIACを設立し11年目を迎えた現在委員数31名で、本田光男委員長指導のもと、おそらく地区16クラブでもトップクラスの例会を実施しております。また、スピーチにも工夫を凝らし、先月は佐久間功講師による卓話 今月は菅原節子講師による卓話 来月は菊池和宏講師による卓話とスケジュールを組んでおります、是非皆様の参加をお待ち致しております。話は変わりますが、今週9月6日の土曜日 大橋廣治バスターが、滋賀県の第2650地区第一組においてインターシティミーティングでの、講演依頼を受け「心くばりプロジェクト会議」と言うタイトルで講演を行ってまいります。ご健闘、ご活躍を期待いたします。 本日の後半は、社会奉仕委員会黒羽委員長による、セミナー報告その後、会員増強委員会による、3年未満の会員による会員スピーチが御座います。後半の報告、スピーチを楽しみにして会長挨拶と致します。

◆ロータリーの友読みどころ◆

- 横書き ロータリーの将来を担う新世代 P3
- 南相馬市真野承万葉太鼓〜 P31
- 福島県学生親善囲碁大会 P33
- ロータリー米山記念奨学〜 P34
- 縦書き 環境のまちづくり P73

◆9月誕生祝い◆

9月は3名の方がお誕生日をお迎えになりました。おめでとうございます。

- 国井 元会員 (S22.9.15)
- 大野順道会員 (S26.9.8)
- 渡辺雅浩会員 (S35.9.21)



◆セミナー報告◆



黒羽好夫社会奉仕委員長

1「福島にこらんしょ！」プロジェクト
福島県の復興と風評被害払拭を目的に、福島に来訪していただく事業。

RI 第 2530 地区の地区大会が 2014 年 4 月 25 日、26 日に開催。参加の呼びかけ。「友愛スポット」を設ける。当クラブからは「おりおり」さんが登録。2 ロータリー猪苗代湖水環境協議会への支援協力 浜辺の浄化 成蹊 IAC の皆さんにも参加していただき、福島南 RC;10月18日(土)天神浜にて行う。3エコキャップ回収活動支援 ポリオ撲滅と二酸化炭素の削減に協力すること。

◆会員スピーチ◆



◆尾形博幸会員 H25.2.6 入会◆

植木等の歌「金のない奴俺の所へ来い！俺もないけどどうにかなるさ」の様な人生を46年間送ってきたような気がします。何か一つ閃くと無鉄砲にも一度も会った事のないその業種のトップの所へ、アポなしに飛び込んで行ってしまいます。それが結果的には思いもしないような出会いがあり、新しい事業の展開が開けてきたような気がします。思いついたら断られても何回も行き、最後はお前は面白いと非常に可愛がってもらいました。それも人と同じ事をやるのが嫌いなので、何でも福島で最初にやるというのがモットーなので、失敗もあり成功がありましたが、その達成感がたまたまなく楽しいのです。人間大きな夢を持ちそれに向かって一直線に進むという若者が少なくなり日本社会の活力が落ちてきたように思います。我々老人が若者に夢を持たせて自由に活力ある事業ができるような環境をつくってやる事が重要ではないかと思っております。つまり型にはまらないような発想の出来る若者育成に努める事が大事であり、それが日本の活力につながっていくのではないかと思います。



◆菅野清敬会員 H25.8.7 入会◆

私が福島南ロータリークラブに入会して早1年となります。黒羽バスター会長、菅原会長エレクト両名様からのお話もあり、入会させて頂く事と

なりました。ですがお昼の例会は、仕事柄時間を取る事が難しく、作業着で出席した事もあり大変心苦しい思いでした。「仕事も奉仕のうちだよ」と、おっしゃって頂いた事もありましたが、このまま参加しても良いものかと悩んでいたところ、先日の例会の趣向ロータリークラブ前会長若林様のゲストスピーチで、職業奉仕のイメージのお話を聞き、ロータリアンである私が仕事でも人間性でも、しっかりと真面目に相手に接すれば、相応の答えが返ってくるという事と考えました。それは私だけの事に限らず、福島の土木・建築関係は深刻な人手不足の解消の為、できるだけ仕事の要請は受けたいと日々励んでおります。ただ毎日の作業予定の変更も度々あり、大変言い訳がましいですが、仕事をする事でロータリアンとして奉仕に努め、出来るだけ例会に出席したいと思っておりますので、今後共皆様の広く温かい心で接して頂きます様お願い申し上げます。



◆三瓶弘樹会員 H26.3.26 入会◆

私には二人の兄がおり、幼少期から様々な影響を受け、兄がピアノを習っていたこともあり3歳の時にピアノを始めて以来「音楽」に興味を持つようになりました。中学校になるとギターを始めました。その後バンドを組み、バンド活動を行うようになり続けているうちに、スケートボードやスノーボード、グラフィティといったサブカルチャー文化に興味を持つようになり、大学に入り経営学を専攻し、マーケティング等を学ぶ中で、私の好きなサブカルチャーというものをマーケティングとつなげることは出来ないかと考え、教授らと共にこれからの日本のサブカルチャーの研究を行っていました。この研究は、曖昧な存在であるサブカルチャーを明確に定義し、さらに現代文化と対比することで、以前の日本の文化とは大きく変異した現代の日本の文化というものを定義していく事で、現代文化におけるニッチ市場を明確化するものでした。私の趣味を初めに「音楽」と説明しましたが、「音楽」はそれらを包括する「文化」であり、更にそこに関わる「人々」だと考え、「音楽」は一つのツールであり様々な人と関わりあう事が、私の趣味であると思っております。ロータリーという新たな出会いの機会を頂き、様々な方からお話を聞けることが私の中で大変貴重であり、感謝申し上げます。

今月・来月のプログラム

- 9月10日(水) 成蹊高校奨学金授与
青少年月間スピーチ
- 9月17日(水) 米山記念奨学会セミナー報告
会員スピーチ、インターアクト例会
- 9月24日(水) 新入会員歓迎会、ドクタースピーチ
(小児科医師赤間先生)、全会員セミナー

※ 地区情報

9/7 米山奨学会セミナー